

ハイリスク児の地域ケアの在り方の検討

(分担研究：ハイリスク児の発達支援（早期介入）システムに関する研究)

共同研究者：飯田芳枝、林 正男

要約：石川県では平成8年度の県事業として「大きくなあれ未熟児総合ケア推進事業」を実施している。これは未熟児保健・医療連携事業、大きくなあれフォローアップ事業、未熟児育児支援ケース検討会の開催、「大きくなあれ親の会」の育成と支援の4本柱より構成されている。事業実施にあたり未熟児保健・医療連携研修会の開催（5月実施）、NICU保有医療機関の小児科医や看護婦長への事業説明（6月実施）、保健所保健婦長や業務担当者との打合せ会（7月実施）を行なった。未熟児の退院時の連携（図1）は9月より開始した。保健所保健婦はNICU保有医療機関の担当医や婦長から、養育医療申請者76人（平成8年4-12月）中28人について指導をうけた。今後、本事業が軸となつて、地域における未熟児の発達支援が推進されるものと考えられる。

見出し語：未熟児、総合ケア、推進事業、石川県、育児支援

目的：未熟児が健やかに育つために保健・医療福祉関係者の連携を強化し、未熟児やその保護者への支援体制の整備を図る。

事業内容

1) 未熟児保健・医療連携事業（図1）

- ア 退院時連携：未熟児が退院するまでに、NICU医師が保健所保健婦を指導する。
- イ 病診連携未熟児かかりつけ医紹介：NICUと地域のかかりつけ医との連携の強化を図る
- ウ 未熟児保健・医療連携研修会（年1回）
- エ 未熟児保健・医療連携会議（NICU保有医療機関婦長・保健担当者会議（年1回）

2) 大きくなあれフォローアップ事業（各保健所） （乳児・幼児期年4回、健診後教室を開催する）

- ア フォローアップ健診の開催：未熟児の発育・発達経過を就学まで定期的に観察する。
内容：問診、身体計測（体重、身長、頭囲、胸囲）、神経学的診察、新版K式発達検査、親子関係テスト等
実地者：医師、保健婦、心理判定員、看護婦
- ロ フォローアップ教室の開催（各保健所）
未熟児の離乳食や栄養また運動発達のための運動療法等の育児教室を開催する。
内容：離乳食指導等の食事指導、日常身辺動作の自律訓練、言語発達指導、感覚統合訓練
実地者：医師、保健婦、作業療法士、栄養士

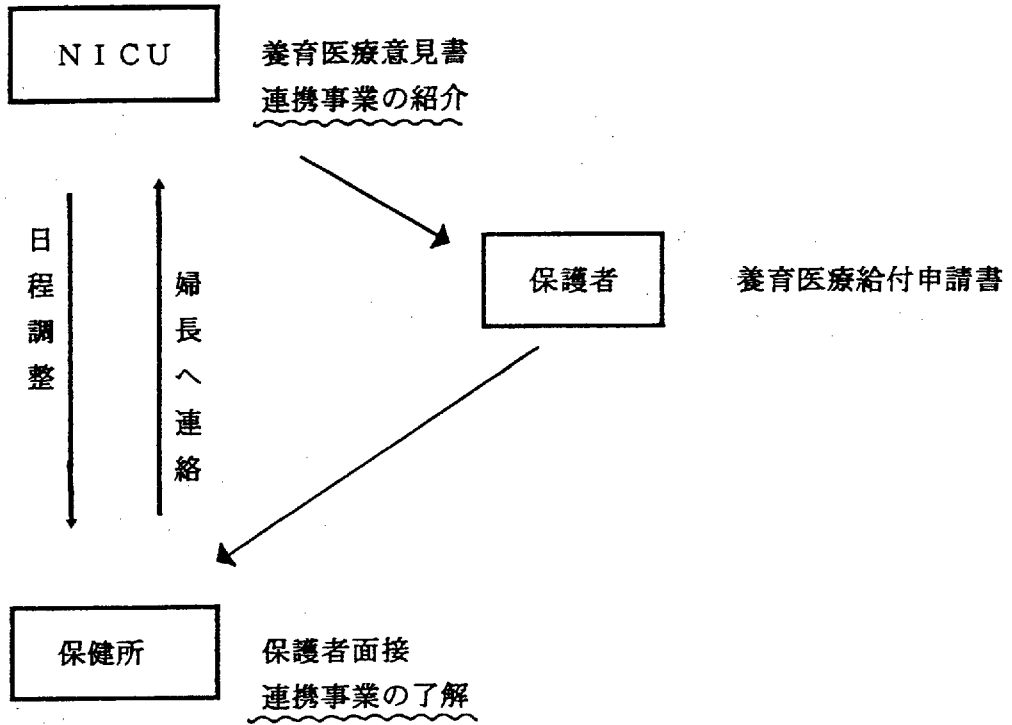
3) 未熟児育児支援ケース検討会（各保健所）

実地者：医師、保健婦、作業療法士、栄養士、
保母、（医療機関、保健所、市町村）
実地回数：保健所保健・福祉サービス調整推進事業の「保健福祉サービス調整推進会議」等にて実施する。

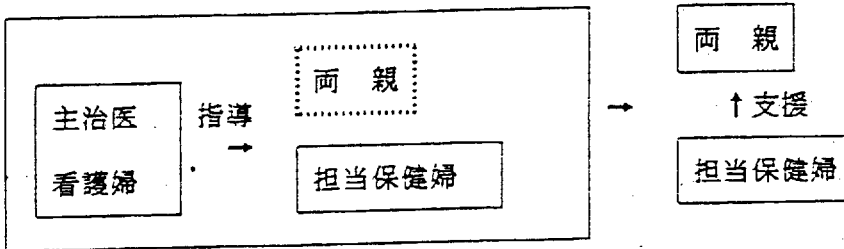
4) 「大きくなあれ親の会」の育成と支援（各保健所）

親同志で育児等の悩みの解決を図っておくための「親の会」を育成し、自助グループの支援を行なう。

未熟児保健・医療連携事業について



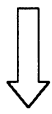
退院時連携
未熟児が退院する時、NICU医師が保健所保健婦を指導する。
<病院 (NICU)> <地域>





検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:石川県では平成 8 年度の県事業として「大きくなあれ未熟児総合ケア推進事業」を実施している。これは未熟児保健・医療連携事業、大きくなあれフォローアップ事業、未熟児育児支援ケース検討会の開催、「大きくなあれ親の会」の育成と支援の 4 本柱より構成されている。事業実施にあたり未熟児保健・医療連携研修会の開催(5 月実施)、NICU 保有医療機関の小児科医や看護婦長への事業説明(6 月実施)保健所保健婦長や業務担当者との打合せ会(7 月実施)、を行なった。未熟児の退院時の連携(図 1)は 9 月より開始した。保健所保健婦は NICU 保有医療機関の担当医や婦長から、養育医療中請者 76 人(平成 8 年 4-12 月)中 28 人について指導をうけた。今後、本事業が軸となって、地域における未熟児の発達支援が推進されるものと考えられる。